

明けましておめでとうございます。

今年も、発達段階に応じた読書活動を推進するとともに授業で学校図書館を活用し、新学習指導要領の目指す授業改善を進めましょう。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



情報を得ることと調べることの違い

現代社会において、私たちが情報を得るためには、インターネットの利用が便利です。機器さえあれば、最新の情報を手軽に、音声や動画でも入手することができます。情報の信ぴょう性に注意することも認知されてきました。

しかし、まだまだ図書や新聞などの印刷物は重要な情報源です。

調べればすぐわかるような事柄を調べるには、インターネットは便利ですが、図書は、事実から筆者の考えを構築したり新たな事実を発見したり、筆者の構想に基づいて構成されています。もっと詳しく調べたくなった時や少し専門的な分野になると、意外にインターネット上には情報が少ないことも分かります。紙の辞書は、周辺の関連情報も目に入ります。辞書によって説明も異なります。

書いてあることを写すだけの学習は、探究的とは言えないでしょう。体験したことをまとめるだけでも同様でしょう。現代社会における「生きる力」としての「学力」を育成するために、今年も学校図書館を効果的に活用してください。

タブレットパソコンで学校図書館の本の検索ができます

1 月 5 日に教育支援課から連絡板でお知らせしたように、ICT 環境がレベルアップし、すべての教育用のタブレットパソコンから自校の図書資料の検索ができるようになりました。

先生方の教材準備に「この本は学校にあるのか」「すぐに借りられるか、貸出中か」「学習指導に使えるような本はあるか」など、蔵書状況を確認できます。



タブレットパソコンで本の検索ができるようになると、児童生徒に検索方法の指導もできます。

- ① 蔵書検索ソフトの中に本の目録が作成されており、本を探すには、タイトル（書名）で探す、著者名で探す、キーワードで探す、分類記号で探す、などができます。
- ② 「かんたんけんさく」は、キーワードで図書資料を探します。キーワード検索では、どんな言葉をキーワードとするかで検索結果が変わります。「伝統工芸」「伝統工業」「伝統産業」それぞれ、検索結果が異なります。例えば、「いるか」と入れると、動物のイルカも歌手のイルカも「あの人はどうしているか」などという本も検索されてしまいます。
- ③ 検索結果から求める資料かどうか見当をつけることが必要です。分類記号を見て、実際に書架で確かめないと分からない場合もあります。

学校図書館の本を教室から予約することも可能となります。支援員の業務の実情に応じて、対応できるか個別に相談してみてください。特に中学校では、家で検索して区立図書館の本を予約するように、教室で検索して学校図書館の本が借りられるようになるといいと思います。しかし、予約で 1 冊の本をピンポイントで借りることは便利ですが、書架を見回っているいろいろな本と出会うことも大事だということとは忘れないでください。

より使い易くなった ICT を活用して、学校図書館の活用をさらに進めてください。